

「三国史記」、好太王碑、「宋書」の記録		「日本書紀」の記録
385百済枕流王没、阿莘太子が幼いので叔父の辰斯が即位（三）		神功62新羅が朝貢しないため葛城襲津彦を遣わしたが、襲津彦は新羅に懐柔され加羅を討った
391百済、新羅が海を渡って侵攻してきた倭軍に敗れ、倭の臣民になった（碑）	=	神功65百済枕流王没、阿花(阿莘)王子が幼いので、叔父の辰斯が位を奪い即位
392百済が高句麗に北辺を侵攻され敗れた。辰斯王が没し、阿莘王即位（三）	=	応神3辰斯王が天皇に礼を失したので紀角宿禰を派遣。百済は王を殺し、宿禰は阿花を王とした
393新羅の金城を倭軍が包囲したが、新羅が守った（三）		
396高句麗が倭の臣民となった百済を討伐。奴客となることを誓わせた（碑）		
397百済阿莘王が倭と友好関係を結び、太子の腆支を人質として送った（三）	=	応神8百済阿花王に礼がなかったのでトムタレ等の土地を奪った。直支(腆支)王子が人質となった
399百済が高句麗への誓いを破り倭と和通。倭軍が新羅国境まで進軍（碑）		応神14百済王が縫衣工女を奉った。百済から弓月君が来帰。新羅が妨害したため葛城襲津彦を派遣
400新羅の応援要請で高麗軍が進軍し、倭軍を新羅王都から任那加羅まで追撃(碑)		したが、襲津彦は帰還せず
402新羅実聖王が倭と通好し、奈勿王の子末斯欣を人質として送った。百済阿莘王が倭に遣使(三)		応神15百済王（「古事記」では近肖古王とされ、時代が違う）が阿直岐を遣わし、馬2匹を奉った
404帯方界（漢城沖か）に侵入した倭の水軍が、高麗軍に大敗(碑)		
405百済阿莘王没。太子腆支（直支）が倭人に護送されて帰国し、即位(三)	=	応神16百済から王仁が来帰。阿花王没。王位継承のため直支を帰国させた。加羅に平群木菟らを
405、407新羅の慶州付近、東辺、南辺を倭兵が侵攻した（三）		派遣し、新羅に圧力。襲津彦が弓月の人夫を伴い帰還
418新羅訥祇王弟の末斯欣が朴堤上の計略で倭から逃げ帰るが、堤上は殺された（三）		応神20阿知使主、都加使主が党類と来帰。
418百済腆支王が倭に遣使、白錦を送った。420百済腆支王没、久尔辛王が即位（三）	=	応神25百済直支王没、王子久爾辛(久尔辛)が即位。王が年少のため木満致が国政を執った。木満致
421讃が宋に朝貢し除授された(宋)。425讃が宋に司馬曹達を派遣、上表し方物を献上(宋)		が王母と密通したため、天皇が召喚
427百済久尔辛王没、毗有王が即位。428毗有王に倭から使者、隨行50人（三）		応神28高麗?から遣使。上表文が無礼なため、高麗の使を責めた
430倭国王が宋に遣使し方物を献上(宋)		応神31武庫水門火災後、新羅が匠者を貢上
431新羅の東辺境を倭兵が侵攻した（三）		応神37阿知使主らが高麗?の案内で宋に至った
438讃の弟珍が宋に遣使朝貢して上表し、自称の使持節都督百済等六国諸軍事安東大將軍倭国王の除		応神39百済直支王（毗有王か）が妹新齊都媛を遣わし仕えさせた。媛は7人の婦女を連れて来帰
正を要求。安東將軍倭国王に除され、倭隋ら13人が要求通りの將軍号を除された(宋)		応神41阿知使主らが、宋王から与えられた工女を伴い帰国
440新羅の南及び東辺境を倭兵が侵攻した（三）		仁徳11朝貢した新羅人を茨田堤築造の役とした
443済が宋に遣使朝貢した。安東將軍倭国王に除された(宋)		仁徳12高麗?が鉄の盾と的を貢上した
444新羅の金城を倭兵が包囲して帰った（三）		仁徳17新羅が朝貢しないので問責し、貢納させた
451済が宋から使持節都督六国（百済を含まず）諸軍事を加えられた。臣下23人も將軍等に除された。		仁徳41紀角宿禰?を百済に送り国境を決定。同53朝貢しない新羅を攻撃。同58宋、高麗?から遣使
同年、安東大將軍に進号された(宋)		允恭42天皇の殯宮に新羅王が参会した
455毗有王没、蓋鹵王が即位（三）	=	雄略2即位した蓋鹵王から適稽女郎（池津媛）が貢進された。密通したので殺した。
459新羅の東辺を倭の水軍が襲った。新羅軍がこれを撃退した（三）		雄略5百済から蓋鹵王弟（子か）の昆支が質として来朝。同7百済から才伎（技術者）が来帰
460倭国が宋に遣使し方物を献上(宋)。462倭王世子興が宋から安東將軍倭国王に除された(宋)		雄略6宋から遣使。
462、463新羅に倭人が侵攻した（三）		雄略8新羅と高麗の紛争が生じ、新羅救援のため倭軍が高麗軍を破った。同9倭軍は新羅を征討し
		たが、倭軍に内紛が起こった
		雄略8身狭村主青と檜隈民使博徳を宋に派遣、新羅が高麗と結んでいると報告
475百済漢城が高麗軍により陥落、蓋鹵王敗死。新羅の助けて、王子の文周が熊津に遷都し即位(三)	=	雄略20高麗が百済を討滅。同21百済蓋鹵王弟（子か）汶洲(文周)王に熊津を賜り、百済を復興さ
476、477新羅に倭人が侵攻した（三）		せた
477興の弟武が宋に遣使し方物を献上(宋)		
477百済文周王が弟昆支を内臣佐平に、長男三斤を太子にした（三）		
478武が宋に遣使上表し、自称の使持節都督百済等七国諸軍事安東將軍倭国王と、開府儀同三司の除		雄略12?青と博徳を宋に派遣。同14?漢織、呉織、衣縫の才伎を率いて帰国
正を要求。使持節都督六国（百済を含まず）諸軍事安東大將軍倭王に除された(宋)		
478百済文周王没、三斤王即位。479百済三斤王没、東城王即位（三）	=	雄略23文斤(三斤)王が没したので、昆支の子東城王を即位させた。軍船を率いて高麗を攻撃した
		顕宗3紀生磐が高麗と通交し、任那の帶山城で百済と戦った
482、486新羅に倭人が侵攻した（三）		仁賢6高麗?に遣使し巧手者を招致した

（三）は「三国史記」、（碑）は好太王碑文、（宋）は「宋書」、それ以外は「日本書紀」。「日本書紀」の記録は、記載年次の実年代が不明なので、想定される年代の位置に置いた（雄略12の宋への遣使は、475年の高句麗による百済討滅後に行われたと思われる）。「＝」は明らかに対応する記録。黄色マーカーは倭の五王の遣使関係。